

KYO

北村和也 田中愛子 山崎香織

の

キョウ

EN

隣人と匣

NO

エ
ン

マ

MA

2023

10.6 fri. - 11.5 sun.

金・土・日・祝のみ開催



晴と雲
haretokumo

ク

キョウエンのマ

KYOEN NO MA

初・中・高

隣人と匣

2023年10月6日(金)～11月5日(日)

11:00～18:00 / 金・土・日・祝のみ開催

アーティストトーク

10月15日(日) 17:00～

出展作家によるトークイベントを開催します。

クロージングパーティー

11月5日(日) 18:00～19:00

作家在廊情報やイベント詳細につきましては、随時instagramやFacebookでご確認ください。

北村和也 KITAMURA Kazuya

1989年高知生まれ。画家。愛知県立芸術大学美術研究科美術専攻油画版画領域博士前期課程修了。2019年、一本の柿の木を対象に、関わりの仕方についてアプローチを行い、日記的な文章とドローイングに加え、油彩画、粘土、写真などで構成した個展『唯の柿の木』を開催。以後、絵を描くことと言葉を書くことを中心に据えながら、制作活動を行っている。

田中愛子 TANAKA Aiko

1989年高知生まれ。京都造形芸術大学大学院芸術表現専攻ペインティング領域修士課程修了(現:京都芸術大学)。植物などの有機的な形態、また日常にあるモノの重なりや断片からイメージを切り取り画面の中で再構成する。絵の具を重ねる行為の中で生まれた層や滲みを用いながら、絵画としてのあり方を模索している。京都や東京、近年は高知での展示など、個展やコミッションワークで作品を発表している。

山崎香織 YAMASAKI Kaori

1978年高知生まれ。大阪芸術大学大学院芸術制作研究科工芸領域V(染織)修士課程修了。布と染料を用い、蠟染の技法を主に独自の染色表現を行う。自身の感情や体験を一度フィルターにかけた上で、人間の心境や身体性、集約、解放等をテーマに色彩や幾何学構成で表現している。2005年より個展、グループ展で作品を発表し、韓国やスウェーデン等海外のアーティストインレジデンスにも参加し展示やワークショップを行っている。

世間、あるいは、世界と言い換えても
良いかもしれませんが、
とうてい緩やかに変化しているとは言い難い。
この感覚に頷いてくれる人は
少なくないのではないかと想像しますが、
「世界」などと大仰にすら聞こえる言葉の指すものを
どう捉えているかなんて、
すぐ隣にいる人でさえ推し量ることは
難しいように感じます。
一方で私たち三人の関係はというと、
少しずつ変化を重ねています。

さて展覧会も今回でいよいよ最後となりました。
高知市の中心から少し外れた葛島の
住宅地にある個人邸で、展覧会という形をきっかけに
隣人となった私たちは、
何かを成し遂げることができるのか。
いや、そもそも何か一つのことを目指して
始まったことではありませんでした。
「世界」はとっくのとうに一つではなく、
もはやとらえどころのない概念だとしても、
晴と雲という匣(ハコ)の中では、
戸を引けば誰かが来たと分かるし、
声を発せば空間に響いて誰かに聞こえることもある。
それは確かなことではないでしょうか。
ここでの出来事が何になるのかはまだわかりませんが、
きっとこれから起きる未だ見ぬ確かなことのため、
私たちは、最後の一ヶ月のひとときを過ごしたいと思います。
(文:北村)

晴と雲 haretokumo

〒781-8121 高知市葛島3-1-3
葛島橋東詰電停下車、南に徒歩約1分
駐車場2台

お問い合わせ先

harekumo.kochi@gmail.com

088-882-5284 (会期中のみ)

instagram: @harekumo.kochi

facebook: @haretokumo



Instagram / 晴と雲



令和5年度 第73回高知県芸術祭助成事業
「KOCHI ART PROJECTS 2023」

晴と雲
haretokumo

